

DX推進の 取り組み

2023/10/2 発行
2024/1/12 改訂

基本的な考え方
ビジネスの力で持続可能な社会を実現

**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS**

リコーグループは“はたらく”に寄り添い、お客様の生み出す力を支えるデジタルサービスの会社へ、変革を加速しています。

リコーITソリューションズは、リコーグループのIT企業として、高度で先進的なIT技術を使いこなし、現場でイノベーションを起こしお客様に価値を届けることで、2030ビジョンにも掲げている『磨いた技術を武器にデジタルサービスを“次々と”創出できる企業』を目指します。

また、自らの仕事のやり方や働き方を見つめなおし、“はたらく”の変革を体感しながら、リコーグループのDXをトップランナーとして牽引していきます。

そして、ビジネスを通じた社会課題の解決、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

リコーITソリューションズ株式会社
代表取締役 社長執行役員

野水 泰之

中期経営戦略（2023-2025）

自社の価値共創力を高め、リコーグループの事業創造を加速させる

- グループにおけるデジタルサービス創出活動及び開発の牽引
- デジタルサービス創造のための技術力と経験値の獲得
- ビジネスのスピードアップと品質向上の実現



顧客市場向け事業の拡大に向けた強固な足場を確立する

- エンタープライズ向け EIM（※）事業の成長
（※Enterprise Information Management）
- SMB向け 新規デジタルサービスの創出



事業推進を最適に進める経営資源を整備する

- 安心してはたらける経営基盤の強化 – 働きやすさ –
- 社員と会社の共成長の実現 – 働きがい –
- 強固な経営基盤の確立



DX取り組みの主要内容

1. 業務プロセスの変革と
データ利活用の推進

2. 成長領域のデジタル
サービスの創出

3. デジタル人材の育成強化

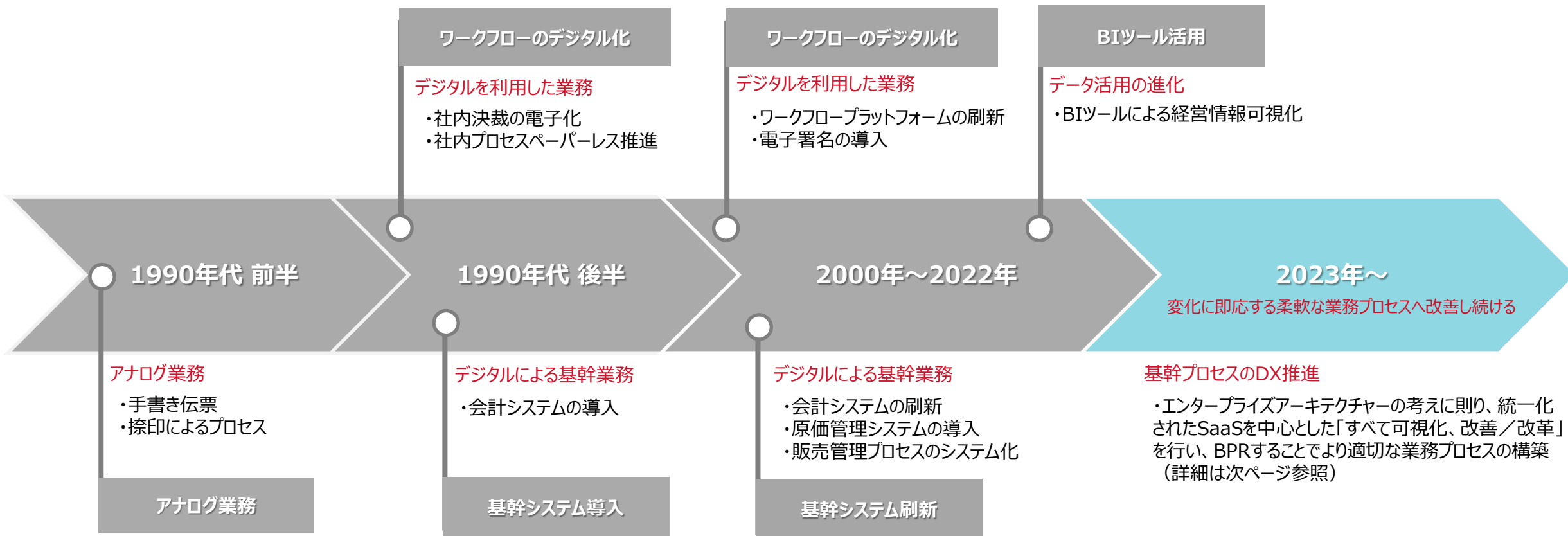
DX取り組みの目標

- ・リコーグループデジタルサービスへの貢献
- ・デジタルサービス売上の拡大

取り組みその1:業務のDX（業務プロセス）

時代の変化に即応し、より柔軟でより適切な業務プロセスの構築と継続的改善を目指しています

・業務プロセスのデジタル化、DX化の変遷



■ 取り組みその1:業務のDX（業務プロセス）

基幹プロセスのDX推進

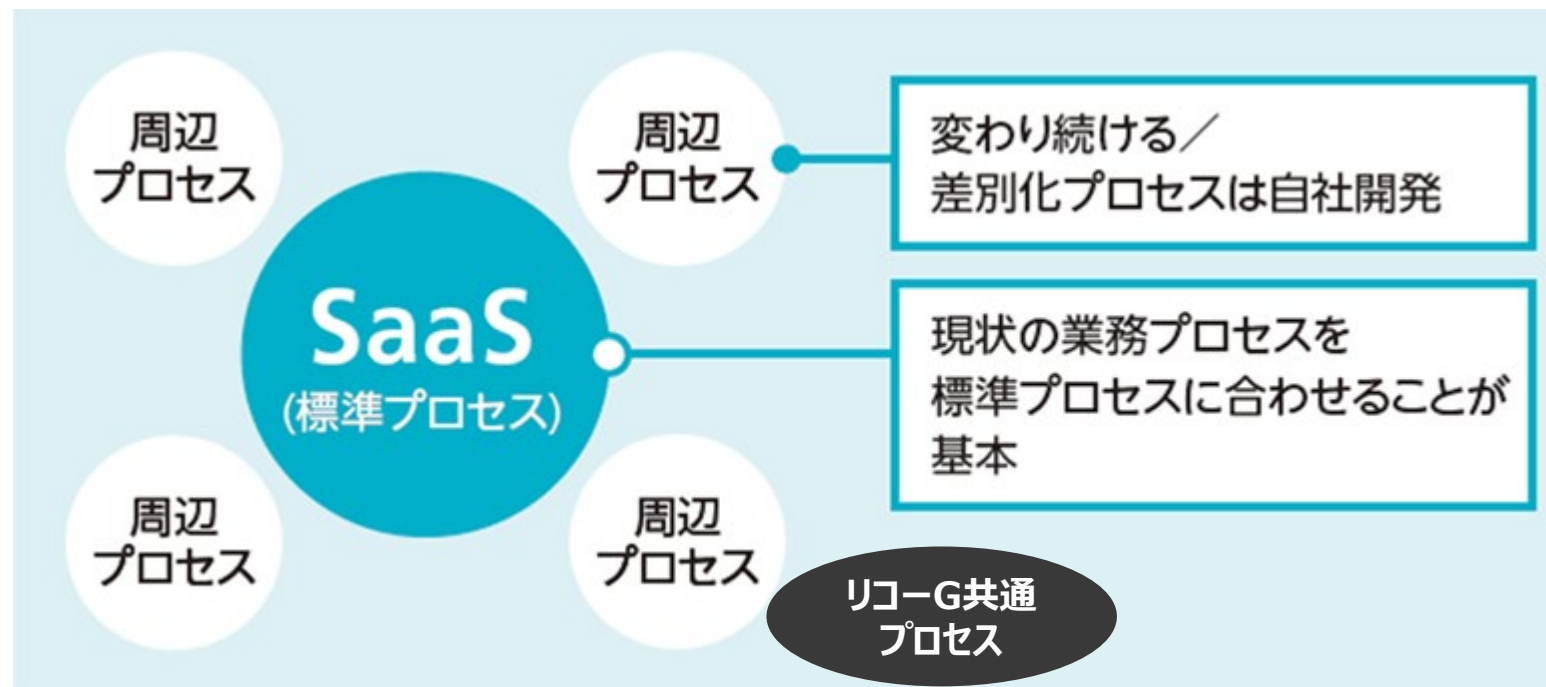
リコーITソリューションズ前身会社の時代から「デジタルを前提としたプロセス」構築を推進してきた当社であります。世の中の変化、事業形態の変化に対して柔軟な対応ができない課題を抱えており、その対策が急務となっています。

課題解決のため、現在、基幹プロセスとそれに伴うシステムの刷新プロジェクトが開始されております。

プロセスの陳腐化や曖昧さを孕んだプロセスについては、すべて可視化、改善／改革を行い、BPRすることでより適切なプロセスを構築します。

またシステムは、エンタープライズアーキテクチャー*の考えに則り、統一化されたSaaSを中心としたものとします。

SaaSの標準プロセスに自社のプロセスを極力合わせながらも、変わり続けるプロセス、自社独自のプロセスについては周辺プロセスとして、疎結合、柔軟性をキーワードに、時に個別構築も視野に入れた構成としていきます。



*エンタープライズアーキテクチャー：企業全体のシステムを統一的な手法でモデル化し、業務とシステムの最適化を図る手法のこと

取り組みその1:業務のDX (データ活用)

様々な観点からのデータの可視化と利活用を通して業務マネジメントと経営戦略を強化し、データドリブン経営への基盤を構築します

経営情報のマネジメント活用シーンで

As-Is

必要データの不足・収集手間/手加工・後手の整備

To-Be

必要データの自動収集・常に共有/加工が容易・常に整備

①データ定義

財務情報

・売上、原価、販管費

受注情報

・事業情報

事業領域...

・顧客情報

社名、テーマ名...

・発注情報

社名、委託内容...

②データ収集 (自動化)

③データ蓄積

④マネジメント 活用

活用シーンの変化に対応し、必要データを常に見直す



BIツール

アクションプランに繋げる

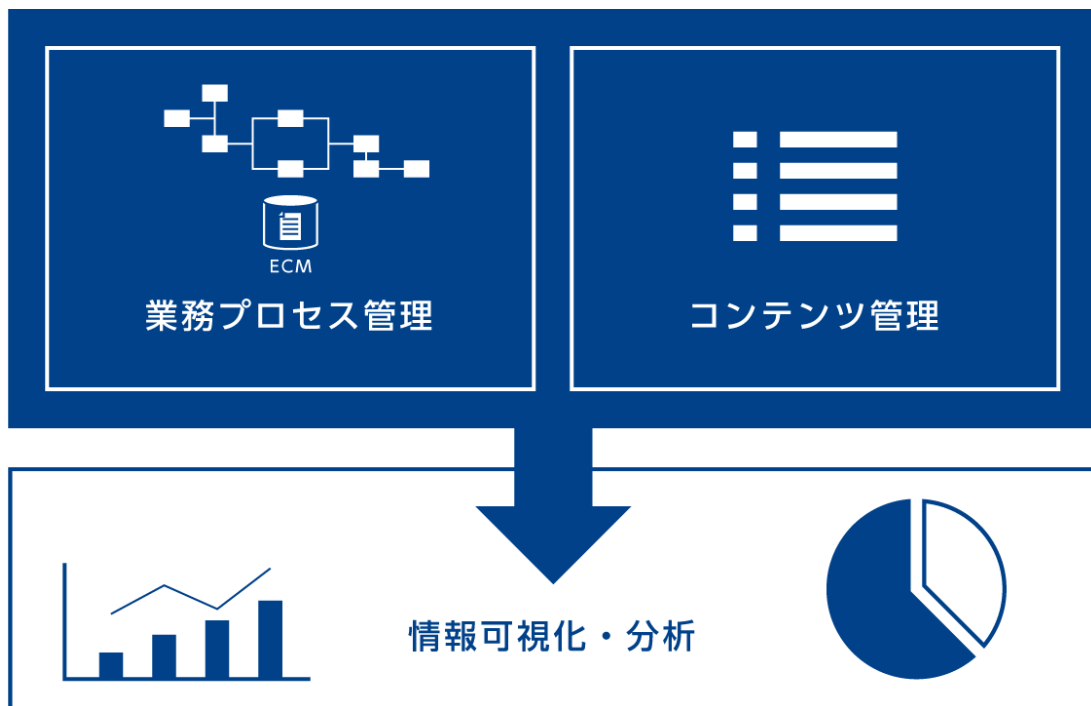
様々な観点からのデータ可視化
活用シーン：経営戦略、営業戦略等



経営会議、業績レビュー、投資レビュー
EIM(Enterprise Information Management)事業
マネジメントなど、常にデータ共有、可視化
→迅速な判断・意思決定

■ 取り組みその2: デジタルサービスの創出

リコーグループが社内DX実践で得たノウハウをシステム化した業務アプリケーションを提供し、お客様の業務プロセスの変革とDX促進をサポートしています



企業におけるさまざまな活動の“業務プロセス管理”機能と“コンテンツ管理”機能を一体化し、情報可視化・分析を可能にするための、クラウドサービスアプリケーションのプラットフォーム（[EIM: Enterprise Information Management](#)）を提供しています。

既存EIMサービスの商品力強化

EIMサービスのラインナップ拡充

アイデア発掘活動・支援プロセスの強化

リコーグループ内の共同事業化の促進

リコーITソリューションズは、デジタルサービスの創出活動を強化し、お客様の業務プロセスの変革とDX促進をサポートしていくとともに、成長領域のビジネスを加速していきます。

■ 取り組みその2: デジタルサービスの創出/AI

データ分析やAIなどのデジタル技術を駆使して、企業の情報活用を促進するサービスプラットフォームを提供し、お客様の働き方変革やオペレーションのイノベーションを支援しています

オフィス領域におけるAI活用事例：[仕事のAI](#)

- ・自然言語解析を活用した顧客支援

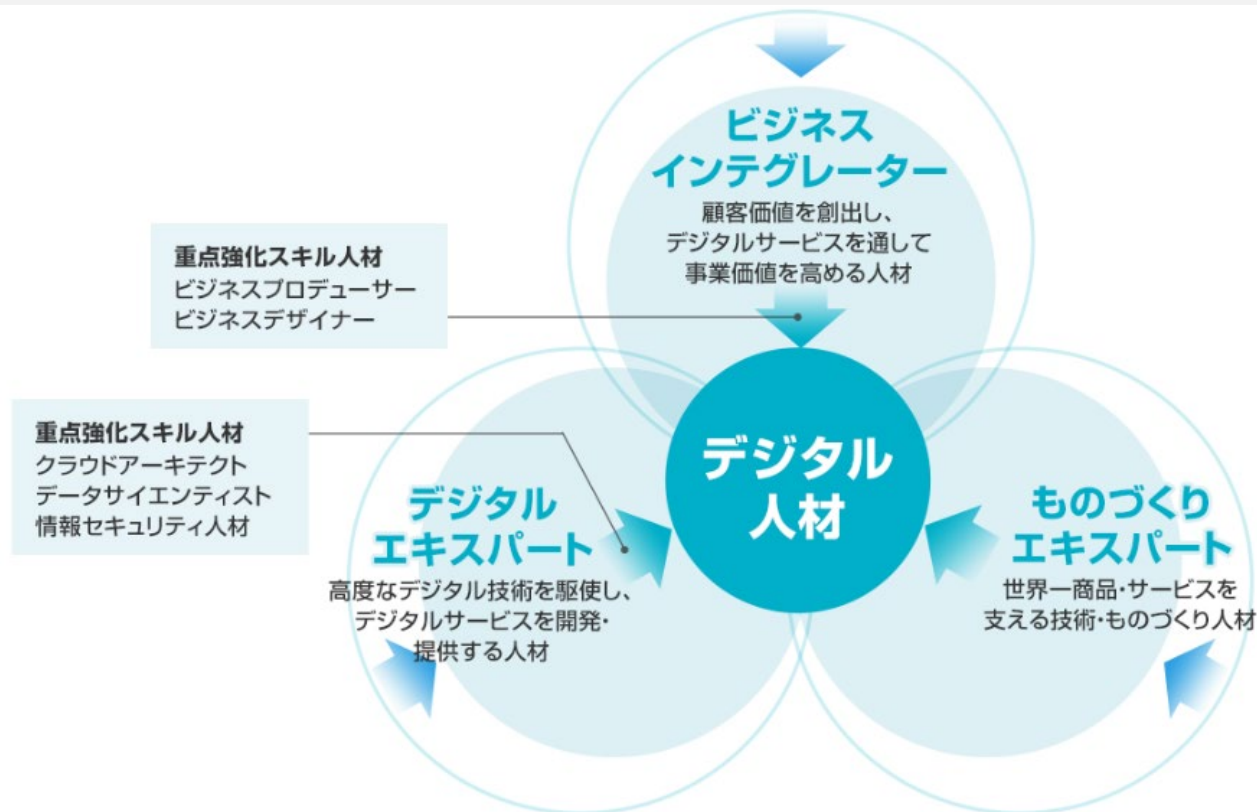
VOC(顧客の声)データを活用し、企業、商品、サービス品質向上を支援するサービス
顧客の声を自然言語処理AI技術によって文章の意味を理解し、高度な業務の代替・判断支援を実現。業務効率化や顧客満足度の向上など新たな活用価値を創出。



2023年、AIストラテジーセンターを新設し、オフィス領域だけでなく、産業や社会領域においてもAIによるデータの利活用を拡大し、お客様の高度な業務効率化と満足度向上につながるDX促進をサポートしていきます。

取り組みその3:デジタル人材の育成強化

「デジタルサービスの会社」として事業の実行力を高めるために、リコーITソリューションズを含むリコーグループ全体が「デジタル人材の強化」に取り組んでいます



社員一人ひとりが自律的に学び続けることが重要であり、社員全員がデジタル技術とデータを使いこなすスキルを身に付け活用することで、DX最前線で活躍する主体性を持ち尖った技術者を育て、個人と事業の成長を同時実現することを目指しています

取り組みその3:デジタル人材の育成強化

継続的な全社員の技術底上げと、DX最前線で活躍する主体性を持ち尖った技術者を育てています

人材育成施策

高度IT技術獲得

戦略的強化技術領域における高度IT資格の取得推進

エバンジェリスト制度

“戦略的強化領域”での尖った技術力を認められた社員をエバンジェリスト認定。エバンジェリストを中心とする「エバンジェリストコミュニティ活動」にて、社員が自律的に技術研鑽

エバンジェリスト 6名
アジャイルエバンジェリスト(2名)
クラウド構築エバンジェリスト
ITサービスマネジメントエバンジェリスト
セキュリティエバンジェリスト
XRエバンジェリスト

スキル可視化、プロフェッショナル認定制度

3Ringsを使って自分のスキルレベルを把握
一定水準以上のスキルを持つ社員をプロフェッショナルとして認定



ベース技術習得支援

教育マスタープラン

戦略的強化技術・事業を支える技術と、社員の現状スキルのギャップを埋める年間の技術教育計画

資格取得支援

- 取得費用の助成
- 認定資格制度による奨励金支給

オンライン集合研修の充実

全国にある7拠点から技術研修への参加が可能

Udemy Business

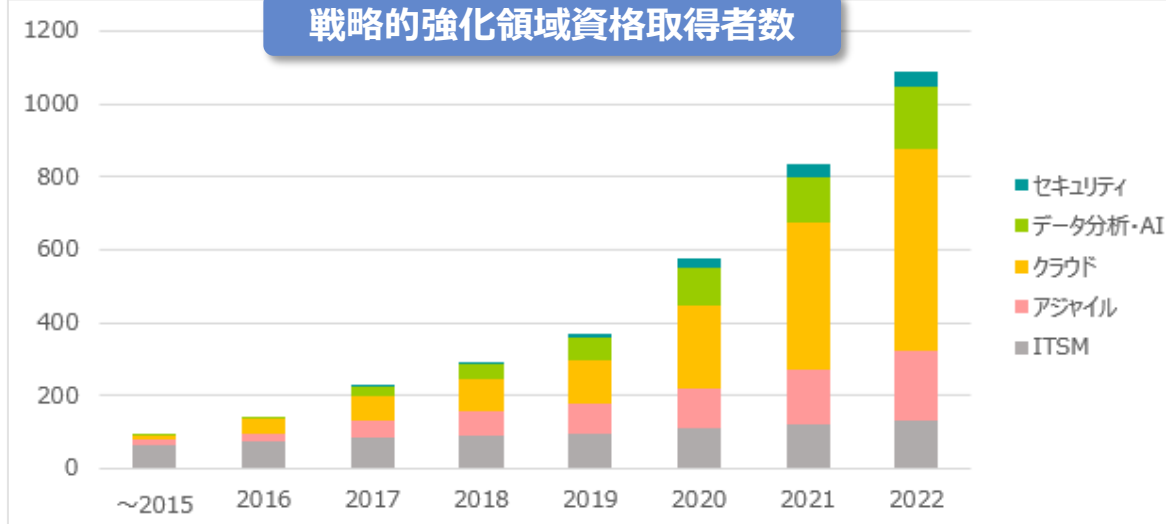
(2021年度導入)
オンライン学習を活用した自律的なスキルアップと学びの共有

Pull up

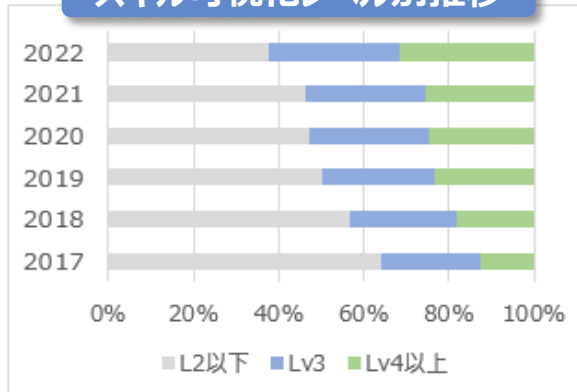
Bottom up

育成效果

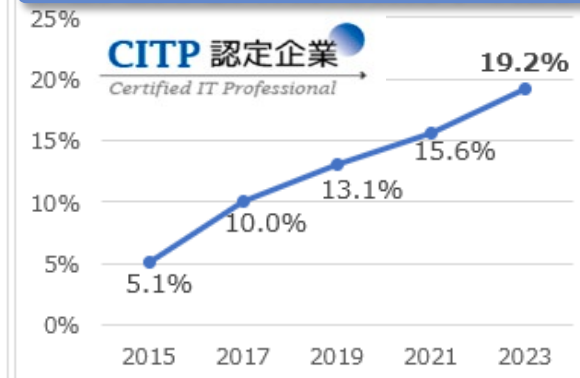
戦略的強化領域資格取得者数



スキル可視化レベル別推移



プロフェッショナル認定者比率の推移



RICOH
imagine. change.